

- 総合目標 5：我が国経済の健全な発展に資するよう、地球的規模の問題への対応を含む国際的な協力等に積極的に取り組むことにより、世界経済の持続的発展、国際金融システムの安定及びそれに向けた制度強化、アジアにおける地域協力の強化、開発途上国の経済社会の発展、国際貿易の秩序ある発展を目指す

1. 「政策の目標」に関する基本的考え方

経済のグローバル化が進む中で、通貨に対する信託を確保しつつ、我が国経済の健全な発展を実現し、世界経済の持続的発展に貢献するためには、国際金融システムの安定や国際貿易の秩序ある発展を図ることが重要です。特に、昨年9月の米国リーマン・ブラザーズ破綻以降、グローバルな金融市場の混乱が続く中、国際金融システムを安定させるとともに、保護主義に陥ることなく国際貿易の秩序ある発展を図ることが重要となっています。また、貧困や地球環境問題、テロ・大量破壊兵器の拡散といった問題にも国際社会が協力して積極的に取り組む必要があります。我が国は、こうした国際的協力において主体的な役割を果たしていきます。

2. 内閣の基本的な方針との関連

第170回国会 総理大臣所信表明演説

第171回国会 総理大臣施政方針演説

第171回国会 財務大臣財政演説（平成21年1月5日、平成21年1月28日）

経済財政改革の基本方針2008（平成20年6月27日閣議決定）

安心実現のための緊急総合対策（平成20年8月29日「安心実現のための緊急総合対策」に関する政府・与党会議、経済対策閣僚会議合同会議決定）

生活対策（平成20年10月30日新たな経済対策に関する政府・与党会議、経済対策閣僚会議合同会議決定）

生活防衛のための緊急対策（平成20年12月19日経済対策閣僚会議決定）

3. 重点的に進める業績目標・施策

該当なし

4. 業績目標・施策に関する基本的考え方

施策 総5-1：世界経済の持続的発展等に向けた国際的な協力への取組

現下の金融・世界経済危機を克服し、金融危機の再発を防止するとともに、世界経済の持続的発展、国際金融システムの安定を実現し、さらに、貧困や地球環境問題、テロ・大量破壊兵器の拡散といった問題の解決に向けて、我が国は、金融・世界経済に関する首脳会合、G8サミット、G7（7か国財務大臣・中央銀行総裁会議）等の国際会議に積極的に参画し、また、国際機関および各国の財務金融当局等との政策対話も積極的に行います。また、我が国との関係が深いアジア諸国経済の持続的発展に貢献することは、我が国経済

の発展にもつながる重要な取組であり、ＡＰＥＣ（アジア太平洋経済協力）、ＡＳＥＡＮ（東南アジア諸国連合）＋３（日中韓）等においても、主体的な役割を果たしていきます。

平成21年度においては、Ｇ８サミット財務大臣会合や第４回アフリカ開発会議（ＴＩＣＡＤⅣ）の成果を着実に実施し、アフリカ向け政府開発援助（ＯＤＡ）やクールアース・パートナーシップの構築を通じて、効果的な途上国支援施策を実施していきます。

施策 総5-2：国際貿易の秩序ある発展に向けた国際的な協力への取組

現下の経済情勢に鑑みれば、貿易拡大を通じた世界経済の成長が必要であり、関税に関する国際的な取組に積極的に参画します。

我が国としては、多角的な自由貿易体制の維持・強化のため、ＷＴＯ（世界貿易機関）ドーハ・ラウンド交渉の早期妥結を目指して引き続き積極的に取り組みます。財務省においては、この取組の中で、特に貿易手続の透明性・予見可能性・公平性の向上、簡素化・迅速化等を進める貿易円滑化交渉についても積極的に推進していきます。

また、ＷＴＯを中心とする多角的な自由貿易体制を補完し、貿易自由化や経済活性化を迅速に推進する等の観点から、ＥＰＡ（経済連携協定）交渉を引き続き積極的に進めていきます。

５．参考指標（10指標）

	○ 最近の世界経済動向
	○ 国際機関による世界経済の成長率見通し
(新)	○ 金融セクターにおける損失推計額の見通し
	○ 途上国の貧困削減状況
	○ 地球環境問題への対応状況
(新)	○ テロリスト等に対する我が国による資産凍結措置対象者数
	○ 世界全体の貿易額
	○ 輸出入額及び貿易バランス（対ＧＤＰ比を含む）の推移
	○ 関税負担率の推移とその国際比較
	○ 地域貿易協定の年次別推移